

沖縄
で

辺野古新基地ノーの審判下る!

沖縄県知事選で、辺野古米軍新基地の建設反対を掲げた玉城デニー候補が8万票余の大差をつけて勝利!

これは、沖縄の基地をめぐるたたかいに大きな展望を開くもので、安倍政権に対する強烈な痛打です。また、国政の5野党1会派が共同して「辺野古新基地建設反対」とたたかったことは、野党共闘にとっても大きな意義があります。旗印を明確にし、「本気の共闘」をすれば自民党を追い詰めることができることが示されました。

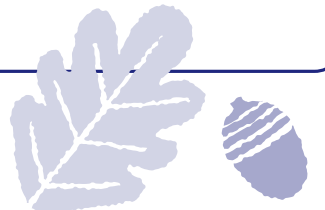
安倍1強、どころか、政権基盤は弱い

沖縄の問題は、安倍政権の強権的な手法が集中的に表れている分野であり、憲法、消費税、原発問題でも、その手法が通用しなくなりつつあります。沖縄の結果を、安倍政権を終わりにするたたかいの始まり、にしましょう。



さら
に

安倍政権を終わらせ、新しい政治を! 国民的たたかいを広げよう!

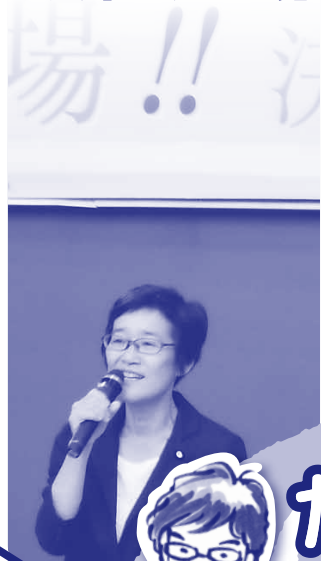


改憲許すな! 安倍政権退場

▶▶▶▶ 京都決起集会

10月11日開催された「9条改憲許すな! 安倍政権退場! 京都決起集会」。

倉林議員は、「この間、安倍政権を終わらせるための野党共闘はとてつもなく大きく前進した。前回参議院選挙で11人になったことで『共産党をのぞく政治』は終わった。内閣不信任案を共同提案し、野党共闘はもう『共同の政府』を作れるかというところまできている。9条改憲ストップ、安倍政権を倒すために私も全力を尽くす」と力強く訴え。



災害に強いまち、府北部を

▶▶▶▶ 対政府レクチャー



10月11日、福知山、舞鶴、宮津、京丹後市の各議員、原田、山内府議、山内健5区国政委員長らとともに倉林議員が、7月豪雨、台風21号被害などの実情を伝え、文科省、農水省、内閣府、国交省と交渉。農林水産省は、「どの災害でも激甚指定されれば95~

98%の支援ができるが、そうでない場合でも暫定法で通常のかさ上げが可能。激甚ほど高くないが80~90%支援に。団体でなくても被災を受けた農業者であれば受けられる」と回答。

消費税10%NO

▶▶▶▶ 願いを託せる政治家

安倍首相は10月15日の臨時閣議で、来年10月に消費税率の10%への引き上げを予定通りに実施すると表明。消費税増税を強行すれば、国民の暮らしと営業、日本経済への破壊的な影響は必至です。

10月24日から始まった臨時国会。増税ストップ、暮らしと営業を守れの声を託せる政治家は、安倍首相、麻生財務大臣と正面から対決できる「胆力の政治家」・倉林明子議員です。



社会保障切り捨て許さない

▶▶▶▶ 全国めぐり医療・介護の懇談

10月14日、京都「医療人の集い」。倉林議員は、「野党共同ヒアリングの先駆けが昨年末の社会保障分野。日本医師会が参加したことで、全野党で社会保障の改悪ストップを要望」と報告。徳島県の「みんなで話そう医療のこれから 倉林クリニック」では、「医療現場をどうすれば変えられるのか」との問いに、「先進国に比べ、あまりにも医師、看護師が少ない」「先進国並みの財源を保障する政治の力が必要」と応じました。



こんにちは **倉林明子** です

2018年11月1日号



発行：日本共産党京都委員会
2018年11月1日号 〒604-8383
京都市中京区西ノ京小堀町2-4
電話：075-354-6771

日本共産党京都府委員会は、上記の見解を発表しました。

倉林明子



新しい政治の流れ、京都でも.....

大山崎町長に前川氏 自民・公明^{など}推薦の現職破る

10月21日投開票の大山崎町長選挙。日本共産党と「大山崎民主市政の会」が支持する前町議の前川光氏が3855票（得票率50.9%）を獲得し、自民党や京都府知事が支援した現職候補（自民、公明、国民民主、立憲民主推薦）を破り、みごと当選しました。これは「公立保育所を守れ」など「小さなまちの大きな町民運動」が住民不在の強権政治を打ち破ったものです。

また、町会議員選挙では、「前川町政を支える日本共産党の4議席実現で、町民の声が生きる住民本位の町政への転換を」と訴え、昨年衆院比例票の1.97倍の得票をえて4人全員当選（1議席増）を果たしました。

町長選では、沖縄の知事選同様、現職陣営がまともに政策を語らず、府政・町政与党の国会議員や京都府知事を並べたビラや「京都府知事『西脇隆俊』は現職町長を応援します」のポスターが貼りめぐらされ、住民不在で選挙を乗り切ろうとしたことに多くの批判の声が寄せられました。



応援にかけつけた倉林議員

国会 アラカルト

障害者雇用水増し、建設アスベスト 閉会中審査で要求

「該当範囲を拡大解釈」と各省庁

障害者水増し問題について、数回にわたり徹底追及。「障害者手帳を確認してなかった」（国交省）、「該当範囲を拡大解釈」（文科省）などの報告が相次ぎ、厚労省は「健常者を障害者として申請したケースは」との問いに「そうした部分もあるかと思うが、その割合は把握できない」と無責任な回答を行いました。



障害者団体からは、「さかのぼれば何万人という人の働く場が奪われ、人生を大きく変えられたということを真摯に受け止めよ」など厳しい声が相次ぎました。

建設石綿被害救済急げ

建設アスベスト訴訟は全国12件で進行し、700人を超す原告のうち7割の方がすでに死亡しています。

この間、相次ぐ勝利判決で国と企業責任が断罪される中、「石綿メーカー248社のうち実際に現行の救済法の基金に拠出しているのは4社のみ」と追及。「交渉の中で国の指導があれば検討するとメーカー側は答えている」「国だけでなく、企業も責任分担を」と迫りました。この他、「一人親方」の救済、裁判によらない「補償基金制度の創設」など強く求めました。



秋の国民的たたかい

《京都での主な取り組み》

11.3(祝)	京都憲法集会 講演／広渡清吾(東大名誉教授)	13:30～ / 円山音楽堂
11.4(日)	米軍レーダー基地撤去を求める“いらんちゃフェスタ”	13:00～ / 峰山町丹後文化会館
11.6(火)	森林経営管理法シンポジウム	14:00～ / 京都府福利厚生センター
11.10(土)	JCP女性講座「カラフルな社会めざして」	18:00～ / ハートピア京都
11.11(日)	京都の子どもたちの今と未来を考えるシンポ	13:30～ / 教文センター
11.18(日)	京まちシンポ ― 京のまち、今と明日を考える	13:30～ / 社会福祉会館
11.19(月)	戦争法廃止 19日行動	18:00～ / 京都市役所前
11.24(土)～1ヵ月間	消費税怒りの30年いっせい行動	府内各地で
11.25(日)	第9回 原発ゼロ京都アピール講演会	14:00～ / 末川記念館ホール
11.30(金)	LDA-KYOTO国会要請	各省庁でレクチャー
12.2(日)	LGBTシンポジウム	13:30～ / 京都アスニー《市会議員団主催》
12.8(土)	敬老乗車証制度の改悪許さない集会	昼休み / 京都市役所前
12.9(日)	北部農業シンポジウム	14:00～ / 福知山市ホテル「万助荘」
12.19(水)	戦争法廃止 19日行動	18:00～ / 京都市役所前
12.23(日)	災害に強いまちづくりシンポジウム	13:30～ / 京都アスニーホール